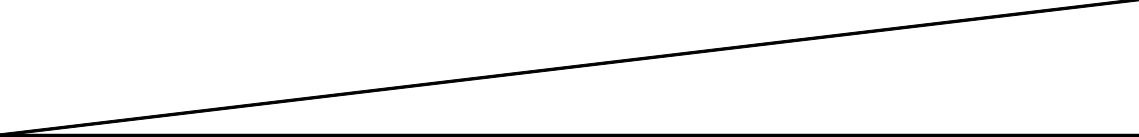


開講年度	令和6年度	開講課程	博士前期課程
授業名	臨床・社会薬学特別演習		
開講キャンパス	伏虎	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～2年次
必修・選択の別	選択	単位	2単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(臨床・社会薬学) 臨床薬剤師活動、患者アウトカム (病院薬学) 医療薬学、臨床薬理学 (医療薬剤学) 医療薬学、臨床薬理学 (医療開発薬学) 神経薬理学、臨床薬学		
担当教員 (下線：科目責任者)	医		
	薬		
授業の概要	薬剤師としての臨床活動における研究テーマについて議論を行うことで、薬剤師の役割の理解を深める。あわせて、臨床研究におけるクリニカルクエスチョンの重要性について学ぶ。		
到達目標	(臨床・社会薬学) 臨床に従事する薬剤師の先駆的な活動を文献検索し、教員と共に討論する。過去の先駆的な薬剤師の活動を学ぶとともに、将来の薬剤師のあり方に対して提案できる能力を身につける。 (病院薬学) 病院薬学に関する最新の研究成果及び研究手法に関する知識を修得するとともに、それらを幅広い観点から考察し、的確にプレゼンテーションする能力を身につける。 (医療薬剤学) 医療薬学、臨床薬理学等に関する学生の研究テーマの発表を中心に報告会形式で行い、自身の研究内容の深い理解とともに理論立てて議論できる能力を身につける。 (医療開発薬学) 臨床におけるアンメットメディカルニーズや、その分野の最新の研究知見について学ぶ。また、それらを広い視点から統合して臨床問題解決型研究の計画及び実践する能力を身につける。		

授業計画	<p>(臨床・社会薬学) 文献調査の研究報告・討論会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。(松原和夫)</p> <p>(病院薬学) 医療薬学、臨床薬理学等の病院薬学に関する概説的な講義を行う。また病院薬学に関する最新の文献を読み、内容を整理・考察し、発表する機会を設け、教員と議論を行う。(中川貴之/松本みさき/抱 将史)</p> <p>(医療薬剤学) 医療薬剤学の研究報告会を行う。パワーポイント等によるプレゼンテーション形式で発表し、質疑討論を行う。(江頭伸昭/山田孝明)</p> <p>(医療開発薬学) 慢性疼痛や睡眠障害の神経科学的な発症機序について講義を行う。また、最新の文献を読み、発表する機会を設け、教員と議論を行うことにより最新知見だけでなく、アンメットメディカルニーズや新規治療戦略に関する理解を深める。(今井哲司/山下 哲)</p>
授業の方法・形態	演習を中心とする。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100%(討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など)によりS(90点以上)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、D(59点以下)の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー(学生からの質問事項等への対応)	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	特に指定しない。